

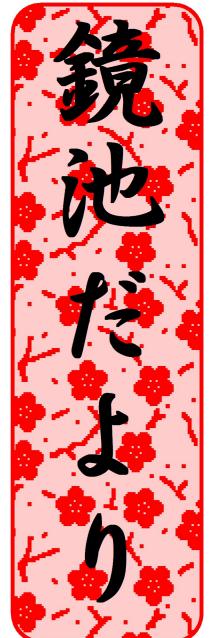
某寺院の『永代経』での法話中のこと、「慙愧(ざんぎ)」と「無慙愧(むざんぎ)」のことに触れ、「慙愧」のところは人間の中から生まれない、人間のところからは反省のところしか出てこない。人が起こす反省のところは、「謝つてあげる」という、謝りながらも自分をどこまでも立てていく自負心のところしか起こってこないのではないか。実は仏教はそのところを「無慙愧」は名づけて「畜生(ちくしょう)」と教える」と話すや否や、聴聞させていた一人の御門徒が、「あんた、それはあまりにも失礼ではないか」という激怒の声を上げられた。その声に私も腹が立ち、互いに大声で話し合つたが、その方は本堂から出て行かれた。

一人の御門徒の主張にも応えられない事実と、本堂から出ていかれることを止められなかつた自分自身に対する不甲斐なさに愕然(がくぜん)とさせられた。

帰り道、自分が仏法を伝えられるという傲慢(ごうまん)心を一人の御門徒から言い当てられたことを思はせられた。そのことは、同時に真剣に法話を聞き入る中で、我が事として聞かれた御門徒の中にみ上げてきた素直な怒りの気持ちなのかもしれない。

異なる意見や思い、世代・性別・民族など、すべての違いを超えて、響き合う間柄を「同朋」と呼び、その響き合う世界を「浄土」と教えられているのではなかろうか。

浄土は響き合う人の間に感じられる
（本多 恵）



第22号
平成27年(2015年)
1月・2月・3月号
発行：編集岡崎別院
輪番 福田 大

宗史蹟親鸞聖人岡崎草庵跡公開講座

主催：真宗大谷派(東本願寺)、真宗大谷派岡崎別院

日時	2015年4月12日(日)午後1時～
会場	真宗大谷派岡崎別院(親鸞聖人岡崎草庵跡)
講師	大谷大学学長 草野顕之氏 浄土宗金戒光明寺筆頭執事 橋本周現氏
講題	未定
内容	○草野顕之氏の講演 ○橋本周現氏の講演 ○両講師によるパネルディスカッション

開催趣旨

近郊の方々並びに広くは京都市民の皆様方に、宗祖親鸞聖人が岡崎草庵(現、岡崎別院)から吉水(現、安養寺)の法然上人のもとへ通わたった、歴史的にも大切な場が当院であることを周知していただきたく、開催することあります。どうかお一人でも多くの皆様方にご聴聞いただきますようお願い申し上げます。

なお、詳細については次号(2015年4月)に掲載させていただく予定です。



- 十月十九日挙式
大河雅奈さん
有賀暢迪さん
- 十月二十五日挙式
滝戸美佳さん
河原唯喜さん
- 十一月二日挙式
佐賀枝しづかさん
福村拓良さん

結婚式予約状況	
○三月二十三日(月)九時半～	春季彼岸会
☆二月二日七日	樹渡陽舎舍幹
☆三月二十八日七日	栖雲深泥
☆四月二十六日三十日	川那邊家
☆五月五日	石黒家
☆六月三十日	村松家
☆七月五日	東谷家
☆八月三十日	龍池家
☆九月五日	某家
☆十月十一日	竹村家
なお、予約の詳細はHP公開中	平原晃宗 師

こんにちは。紙面の一部をお借りして、日頃思ふことを書いてみたらどうだとのご意見を頂きましたので、少し文字を連ねてみます。

岡崎別院に就任してから三ヶ月余り経ち、その間いろいろなことがありました。一番の出来事は、やはり母との死別でしようか。母の子(かずこ)は在家中に生まれ、縁あって父と共に一出来事に入る事となりました。荒廃した寺院を何とかしようと頑張りながら兄と私を育ててくれました。何事も一生懸命に取り組む母でしたが、母には甘えてばかりでしたので、見舞いに行つた時に何か声をかけてあげられたらと思つたところ、逆に母から「好きなように生きなさい」と励されました。母には人生が幸せだったかどうか尋ねてみたかったのですが、その問は自らに向けられていました。

(安孫子)

宗史蹟親鸞聖人岡崎草庵跡
真宗大谷派(東本願寺)

岡崎別院

〒606-8335

京都市左京区岡崎天王町

26番地

電話・FAX 075-771-2921

<http://okazakibetsuin.com>
info@okazakibetsuin.com

〈列座のつぶやき〉

へー～三月の法座案内

宗祖を訪ねて

○二月三日(火)十四時～輪番

○三月三日(火)十四時～輪番

○二月十三日(火)九時半～輪番

○三月十三日(金)九時半～輪番

○二月十三日(火)九時半～輪番

○一月二十三日(金)九時半～

○一月二十三日(月)九時半～

1

第六回・第七回 蓮華の集い

山城第一組主催 落語とJAZZのタベ

大谷専修学院生おみがき
十月十四日、別院報恩講に向けて内陣の仏具のおみがきを行った。

真宗大谷派大谷婦人会岡崎別院支部主催による蓮華の集いは、九月二十七日に第六回、十二月六日に第七回が開催された。第

六回は大谷大学准教授の富岡量秀師に「真宗に立脚した子育てー子どもの育ちのプロセスからー」の講題でお話いただき、二十名が参加した。第七回は樹渢陽舎舎幹の栖雲深泥師に「立派な親にならないで」の講題でお話いただき、二十五名が参加した。

それぞれの子育ての考え方や悩みを打ち明け、共感していかれた場であった。



岡崎別院 鏡池だより

2

第22号

平成26年 (2014年) 12月28日

二〇一四年度 岡崎別院報恩講

二〇一五年二月八日(日)に第八回蓮華の集いが開催されます。ご講師に元大谷中高等学校長の眞城義麿先生をお迎えします。

十月二十三日、宣心院殿御参修、専修学院院長狐野秀存師の御教化のもと岡崎別院報恩講が厳修された。狐野師の「親鸞聖人の教え」という講題のお話を、満堂の参詣者は聴聞した。



大谷高等学校宗教科

清掃奉仕

十一月十三日、大谷高等学校宗教科の先生と生徒たちが別院の庭園の清掃奉仕をした。途中ハプニングもあつたが、元気に落ち葉拾いや草取りをした。

清掃が終わつた後、本堂で輪番の話を聴いた。



庭園ライトアップ・演奏会

十一月二十九日、庭園ライトアップと演奏会が開催された。別院本堂にて岡崎別院お琴教室・大正琴教室の演奏があり、書院では茶道教室のお抹茶接待があつた。百名以上参加があり、晚秋の紅葉を楽しんでいた。



3

平成26年 (2014年) 12月28日

岡崎別院 鏡池だより

第八回 「蓮華の集い」のご案内

二〇一五年二月八日(日)に第八回蓮華の集いが開催されます。

ご講師に元大谷中高等学校長の眞城義麿先生をお迎えします。



第七回 茶話会

麻生優佳&Spesial4

桂塩鯛氏

十月九日に山城第一組主催『落語とJAZZのタベ』が当院で開催された。

先のJAZZの時間は麻生優佳&Spesial4が出演した。後の落語は桂塩鯛氏が出演した。

普段お寺と関わりを持つ機会のない人たち

も訪れ、本堂参詣席だけでは入りきれず、立

ち見も出る盛況であった。二百名以上が音楽

を楽しみ、落語は笑いが絶えなかつた。日程

終了の頃には夜も更け、蠟燭で足下を照らさ

れた美しい参道を通つて帰途に着いた。

これまでにも増して輝いているようであつた。



十月十五日、三日講・巴門徒・近隣寺院の有志によって報恩講に向けた別院の清掃奉仕が行われた。三十名以上が参加し、落ち葉拾いや草取り、院内の拭き掃除をした。



今年も大谷専修学院生にご協力いただいた。今までにも増して輝いているようであつた。

報恩講事前清掃奉仕

十月十四日、別院報恩講に向けて内陣の仏具のおみがきを行つた。

今までにも増して輝いているようであつた。



2